

約70年経過した浸水家屋であったが、利用する決断をし、リフォームした。結果、耐震性等の性能向上だけでなく、離れていた家族が集まる場づくりにもなった。減築で敷地に交流できるスペースを創出するなど、工夫を凝らした作品である。

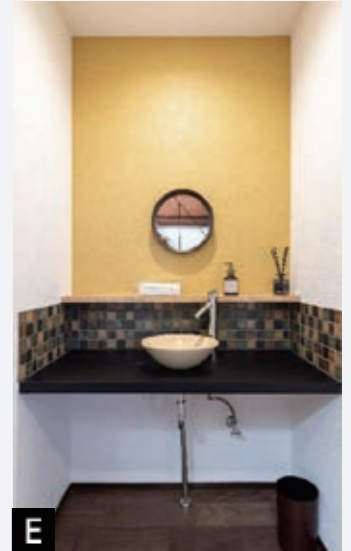
リフォーム前後の写真



減築によりすっきりした外観。外壁を張り替え、モダンな印象に。



LDKには小上がりや、キッチンカウンターなどを設け、大人数で集える空間に。



古民家に調和するモダンな手洗いコーナー



減築によりできたスペースは外壁なども含め、周りから見たときにプライバシー性やセキュリティ面が高く確保された独立性のある庭と



enjoy every single day.



既存の欄間を活かした仏間、トイレ。



収納充実のオリジナル洗面台。

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

【動機】2022年8月石川県小松地方を中心に発生した大雨の際、1階部分は水に浸かるなど大きな被害を受けた。この場所に、今後も住み続けるか迷ったがボランティアの方がお家を大切に扱ってくれているのを目の当たりにし、継承しようと決意した。

【設計・施工の工夫点】大きく減築をし、維持管理面の負担を軽減した上で、家族の生活動線を考慮した間取りとした。SC、パントリーWICなど各所に十分な収納を設け、ご家族が多くても物がすっきりと片付くようにした。古民家の趣を活かすため、オエの天井は既存

を活かし、既存の欄間や格子はデザインに取り入れた。リビングに設置した薪ストーブと断熱材効果で古民家を暖かく再生した。減築したスペースを利用してBBQや体を動かしたりできるようになった。

【住宅の価値向上】古民家の趣を残しながら機能性を向上。

【感想】大雨の被害が大きく、この家をこれからどうしたらよいのかと途方に暮れていたが、高齢の両親のためにもなんとかしたいその一心だった。大雨の日以降家族バラバラにアパートなどに住んでいたが年末年始は1年半ぶりに家族みんなで過ごすことができ、嬉しく思う。

性能向上の特性	特に配慮した事項	lw 値、ls 値
温熱性能、耐震性能(伝統工法:荒壁パネル) 耐久性・バリアー性能	断熱性能UP、伝統工法の耐震工事:荒壁パネル施工 限界耐力(安全限界維持)1/4を1/7とし、分母を3UP	リフォーム前 - リフォーム後 -

データ	
所在地	石川県小松市
新築竣工年	1953年
築後年数	71年
施工期間	210日間
該当工事床面積	182㎡ / 総工事床面積 182㎡
該当部分工事費	3,740万円 / 総工事費 3,740万円
居住者構成	65歳以上: 2人 / 40~64歳: 2人 / 15~39歳: 2人 / 14歳以下: 人 / ペット 匹

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位: ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ □廊下/ ■階段/ ■玄関/ ■クローゼット/ □マツヨリ共用部分/ ■その他